



新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止に向けて ～学校の取り組みを再点検し、できる限りの対応を～

あらためて、今回の新型コロナウイルス感染症クラスター発生に際しましては、多くの皆様に多大なご心配、ご苦労をおかけしていますこと、心よりお詫び申し上げます。また、心身の不調を起こされたすべての皆様方に心よりお見舞い申し上げます。心身の健康回復はもちろん、今後後遺症等の健康被害が起きないこと、更なる拡大が起きないこと、できるだけ早い終息をただただ祈るばかりです。

6日から、学校を再開しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみれば、いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない状況に変わりありません。ただし、学校を起因とするクラスター発生はなんとしても防がなければなりません。学校では、現在北小が置かれている状況を「ステージ4（最高レベル）」として捉え、全職員でこれまでの対策を再点検し、気を引き締めて対応にあたることを確認しました。「感染源を絶つ」「感染経路を絶つ」「抵抗力を高める」等の基本的な対策はもちろん、3密をできるだけ避けるような対策を講じていきます。これまでの対策から変更になる点（抜粋）についてお伝えします。

① 「朝の健康観察」の再強化

ウィルスをできるだけ学校に入れないことを徹底します。そのために、子ども達の健康状態を「教室入室前」に確認します。検温の実施と健康観察カードの確認です。7時30分～教職員の体制を整えて行いますので、昇降口の解錠も「7時30分」とします。保護者の方には、登校時刻の調整、日々の健康観察のご協力をいただきますとともに、「37℃以上の発熱等、風邪の症状がある場合の登校を控え、病院受診をすること（当面の間は同居家族に風邪の症状がみられた場合も同様）」の徹底への協力をお願いいたします。

◆健康観察のポイント◆ 体温、呼吸困難、鼻汁・鼻づまり、のどの痛み、目の充血、頭痛、倦怠感、関節・筋肉痛、下痢、意識障害、けいれん、その他通常と違う症状等

② 業間時間の移動・昼休みの使い方

通常、学校の多くは2時間目と3時間目の間の休み時間をいくぶん長くとる「業間時間」という時間を設けています。子ども達は、校庭にでて走り回ったり、遊具で遊んだりしながらリフレッシュしていました。しかし、大人数で一斉に校庭に出て、遊ぶということになるといくら屋外とはいえ、「3密」が懸念されます。そこで、中・高学年の業間時間を移動します。

○中学年は3校時と4校時の間に

○高学年は1校時と2校時の間に設定します。※低学年は2校時と3校時の間のままです。

また、同様な理由から昼休みを2分割し、前半を456年 後半を123年の使用時間とします。

③ 異学年（学級）の交流、外部人材等の制限、感染リスクの高い活動等

当面の間、子ども達の交流を最小限にとどめ、学級での活動を基本とします。縦割り班での清掃活動、大人数が集まっての行事等は制限、停止、延期とします。また、外部の方が学校に入る機会もできるだけ最小限にとどめるようにします。感染リスクの高い教育活動（合唱、合奏、調理実習、大きな声での活動等）も基本停止としています。

また、行事等は以下のようにいたします。（現段階でお示しできるもののみ）

・運動会－延期（期日未定）

・「戸口訪問」（6月）－教職員による居住地確認のみ（保護者の対応は必要ありません）

その他、換気や消毒などこれまでも行ってきた感染症拡大防止に向けた取り組みもしっかり継続して行っています。一方、子どもたちの充実した学校生活、豊かな成長を考えれば、感染状況をみながら、できるだけ早く通常の教育活動を実施していくことも考えていかなければとは思っています。今後とも保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。